

# Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO.171 2019.9.18

〒659-8511 兵庫県芦屋市六麓荘町 13-22 芦屋大学技術研究棟若杉研究室

日本教育情報学会 運営本部事務局

TEL: 090-1026-1413

FAX: 050-3488-5061

E-mail: jsei@ashiya-u.ac.jp

HP: <http://jsei/home>

## \*\*\*\*\* 第35回定時総会報告 \*\*\*\*\*

2019年8月24日(土) 13:15 から岡山理科大学岡山キャンパスにおいて、日本教育情報学会第35回定時総会が開催されました。

正会員 469名のうち 211名の出席があり(委任状による出席者 121名を含む)、定款27条により総会は成立し、林徳治会長を議長として総会を開会しました。

【提案された議案】 (Newsletter No.170をご参照ください。)

- 第1号議案 2018年度事業報告及び収支決算の件
- 第2号議案 2019年度事業計画及び予算案の件
- 第3号議案 役員選任の件

第1号議案は、原案通り承認されました。

第2号議案は、原案通り承認されました。

第3号議案は、原案通り承認されました。

## \*\*\*\*\* 2019年度日本教育情報学会 学会賞受賞者 \*\*\*\*\*

1. 奨励賞 (該当なし)

2. 論文賞 (1件)

北澤 武 (東京学芸大学)、瀬戸崎典夫 (長崎大学)

森田 裕介 (早稲田大学)、福本 徹 (国立教育政策研究所)

「教育のICT活用を授業で直接体験する時期が教育学部生の

ICT活用指導力に与える影響」

(教育情報研究 第34巻第1号)

3. 特別賞 (該当なし)

# \*\*\*\*\* 日本教育情報学会第35回年会開催報告 \*\*\*\*\*

第35回年会実行委員会委員長  
河野 敏行

新しい年号「令和」、その最初の年に、岡山にて日本教育情報学会第35回年会を開催することができました。例年に合わせて8月の終わりの8月24日（土）・25日（日）の2日間、「超スマート社会に向けた学びの変革」というテーマでの実施となりました。岡山理科大学での開催は2006年から13年ぶりであり、同様に暑い夏の日差しの中、心配しました雨もそれほど影響することもなく、盛会に開催することができました。

情報社会の発展から、**Society5.0** と学校 **Ver.3**というキーワードが登場し、ついに2020年からは東京オリンピック開催の年であるとともに、小学校においてプログラミング教育が義務化され、中学校、高校と大きな変化が起こる前年です。年会を通して、超スマート社会の実現のために本学会としてどのようなことができるのかを検討する場となりました。

記念講演では、「教育改革の取り組み」と副題をつけて、岡山理科大学副学長秦敬治先生から、これまでに改革を手掛けられた大学そして現在、岡山理科大学で行われている教育改革について講演いただきました。**Society5.0**に向けて、社会は変革を行っているところでありながら、教育現場はまだまだ追いついていないという指摘がありました。教育において、何をもちて学生を評価するのか、学校で本当に教えなくてはならないスキル、そして社会に必要なスキルとは何であるのかについて熱弁されました。会場いっぱいの参加者が熱心に聞き、ところどころスマートフォンでメモを取っている様子が見られました。

さらに、シンポジウムでは **ICT** 活用の現状とさらには現場の問題点をはっきりと示すことができたと思われます。スマートデバイスを大学の教育現場だけではなく、海外研修で引率教員がホテルでいながらも各学生の行動状況をリアルタイムで把握という利用方法が紹介されました。しかし、こういった便利な使い方の反面、個人情報取り扱い、セキュリティという問題が頭をよぎりました。このセキュリティの面から、公立の小学校の現場では、**ICT** やネットアクセスが自由に使えない、学校によって設備状況がちがう。また、個々の教員の **ICT** に対するスキルの違いから、**ICT** 活用に対する様々な壁があることが紹介された。また、電子化によることで、知の共有が容易になり、そこから新しい学びが創造されるといった知識循環型システムによる新しい知を生むきっかけとなるというお話もありました。教育現場の **ICT** 活用のサポートとしてベネッセが学校だけでなく、家庭でもシームレスに学習できる環境の構築をされている内容も聞くことができました。

10社以上の企業様から協賛をいただき、論文広告、または当日の企業展示をしていただきました。参考になる展示も多くありましたので、今後とも協力して教育に活かせることを期待しております。

年会の運営においては、年会実行委員の方々、年会企画委員の方々、岡山理科大学の学生スタッフの方々に活躍していただき、多くの負担をおかけしました。また当日のコーディネータおよび、座長を務めていただいた先生方、その他、多くの方々のおかげで年会を無事終えることができました。この場をお借りして、深くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

年会は、教育と研究において幅広い出会いの機会です。特に、若手研究者や学生会員

の皆さんにとっても様々な知見を得る場でもあり、情報交換の貴重な場となっております。来年の年会は、札幌学院大学で開催いたします。北海道の地で再びお目にかかれまことを楽しみに致しております。

**\*\*\*\*\* お知らせ \*\*\*\*\***

**◆年会費納入のお願い**

2019年度・過年度年会費について、納入がお済みでない方には、振込用紙を同封、自宅・勤務先に電話連絡をしております。至急、確認していただき、お手続きをお願いいたします。

お支払いいただいた際の振込金受領書は大切に保管してください。その他、会費お支払い等についてご不明な点のある方は、事務局までお問い合わせください。

**◆「教育情報研究」投稿募集**

日本教育情報学会では年間3冊の学会論文誌「教育情報研究」を発行しております。掲載内容は教育情報に関する原著論文をはじめ下記の論文を掲載しています。

投稿方法等詳細については、学会HPをご参照ください。

- 論説・解説     論文     実践論文     研究報告     その他

**◆ご登録の住所・勤務先等の変更について**

ご自宅や所属先の住所等に変更がある場合は、学会HP内のお問合せ>会員登録情報変更より変更手続きを必ず行ってください。

**日本教育情報学会「第36回年会」開催**

**会 場 :** 札幌学院大学

(〒069-8555 北海道江別市文京台1-1)

**開催日 :** 2020年8月22日(土)・23日(日)

※詳細は次号掲載予定